



ニュース

No.33

しぐなるあいず

NPO 法人 成年後見センターしぐなるあいず 代表者理事 蒲田孝代

事務局: 松戸市松戸 1292-1 シティハイツ松戸101

TEL: 047-702-7868 FAX: 047-702-7869

Eメール: signal-eyes@kve.biglobe.ne.jp ホームページ: <http://www.signaleyebiz/>

第33号 令和3年10月25日 発行

「コロナ禍の後見業務・・・しぐなるあいずの場合」

事務局より

コロナウイルスが流行りだしてから既に1年半が過ぎました。まずコロナ禍で直面したのがマスクや消毒液（アルコール）の入手、外に出るにはマスクは必需品で、マスク無しというわけにもいかず個人での入手が難しく、世界的にマスクが不足し始めて日本でもマスク争奪戦ではないですが、皆さまもこのマスクと消毒液についてはご苦労されたのではないかと思います。現在まだコロナ終息には至っていない中でしぐなるあいずのコロナ禍における後見業務も変化が出て来ています。その中でも大きく変化が見えているのが市民後見協力員さんの活動です。市民後見協力員さんは、専門職担当者とペアを組んで活動されている方で、主に被後見人さんと直接関わりお話をしたり現状の様子を確認していただいている方です。コロナ禍以前の活動については被後見人さんのところにも普通に足を運べ、コミュニケーションをとる中で被後見人さんの様子や変化など感じたことを事務局に報告していただいていたのですが、コロナ禍に入り国からの要請（緊急事態宣言）など活動の場が制限されるようになり活動内容も少しずつ変

わってきました。そんな中でも市民後見協力員の方にはご協力をいただき電話にて様子を伺っていただいたり施設等に面会の予約を入れていただきガラス越しの面会を短時間にて実施してもらうなどご苦労をお掛けしながら活動を継続していただいています。この丁寧な活動が当法人の後見業務の大きな特徴です。今後、ワクチン接種や治療薬の開発が進み、施設や病院の面会制限が無くなり、コロナ禍以前の活動に戻れることを待ち望んでいます。

次にコロナ禍の後見業務といえばワクチン接種の予約です。事務局では、このワクチン接種の予約については、被後見人さん本人やご家族の意思を優先しながら接種（する、しない）を確認し予約作業に入ります。この予約作業は始めのころ電話やインターネットにて予約を取ろうにもなかなかうまくいかず、予約サイトにアクセス出来れば予約枠がなくなっている。再度挑戦を繰り返しながら業務を進めていき、接種当日は施設やご家族に協力をいただきました。今後も感染対策を進めながらコロナ禍の業務を進めていきたいと思ひます。

後見等の受任件数

2021年9月末時点での受任件数は累計で238件となりました。その内69件が終了して
いて、現在支援をしている方の数は169件となっております。

後見等実施中の内訳（件）

類型別内訳				障害等の内訳				
後見	保佐	補助	未成年 後見	認知症	知的	精神	高次 脳機能	未成年
107	57	2	3	59	62	38	7	3

ニュース mini

相談室と出前講座のご案内

成年後見制度の利用については『相談できる場所がない』また、『使うべきかどうか判断するための情報を得るのが難しい』とのご指摘を受けることが度々あります。当法人では下記のような相談室のほか出前講座も承っています。これまでに民生委員・社会福祉協議会・福祉サービスの事業所・障害者の家族会などで実施しています。少人数のグループでもお気軽にお声かけください。

高齢者や障害者のための 成年後見制度相談会

成年後見制度の利用や疑問に お答えします！

開催日：毎週火曜日と金曜日（祝日の場合は前日）

時間：9時から17時（予約は前日17時まで）

対象者：高齢者、または障害をお持ちの市民の方、

「福祉と法律の相談室」

福祉の専門家と法律の専門家が
ペアで相談に対応します。

開催日：毎月第3木曜日

時間：10時から15時（予約は前日17時まで）

（要予約・相談無料） 電話 047-702-7868

しぐなるあいずでは、活動を支えてくださる賛助会員を募集しています
年会費：個人3,000円 団体10,000円（お問い合わせはしぐなるあいず事務局まで）